



堺ものづくり伝承・しごと体験事業～さかい DECCH プロジェクト～ 丁稚奉公によるキャリア形成事業～匠のまち堺 DECCH プロジェクト～



DATA

- 主な連携先・メンバー
堺市子ども企画課／堺市子ども家庭課／堺市ものづくり支援課／堺市教育委員会教育センター／大阪府教育委員会教育センター／さかいJOBステーション／堺市ユースサポートセンター／NPO法人み・らいず
- 活動地域
大阪府堺市
- 活動期間
2016年度～2018年度
- 活動資金
堺市と関西大学との地域連携事業

活動の目的

- 1 発達障害や貧困など、様々な要因でアルバイトが困難な高校生が伝統産業と出会うことで、それぞれの特性に合ったキャリア形成や伝統産業の担い手となる可能性を広げる
- 2 地域の企業等に高校生が関わることで、市内の若者就労者の増加や、地域活性化につなげる

連携にいたる経緯

堺市には伝統産業が多く集積しており、その技能を継承・発展させるため、「さかい新時代ものづくり特区」として様々な施策が実施されている。一方、多数存在するニート・ひきこもりなどの若年層は、職業を持たない「若年無業者」として地域福祉における課題となっている。本事業ではその両者を繋げ、若者および伝統産業の未来の可能性を広げることを目的に活動を行う。



活動内容

本事業の目的を達成するため、関西大学教員、堺市ユースサポートセンタースタッフ、堺市関係部局で「わかものしごと協議会」を組織し、事業の企画、進捗管理、評価を行った。

<わかものしごと協議会・同準備会>

- 第1回 準備会 2018年7月 対象者や進め方について検討
- 第1回 協議会 2018年9月 体験についての報告、今後の進め方について検討
- 第2回 協議会 2018年11月 堺市若者支援事業についての調査結果共有
本事業のパッケージ資料検討、報告会内容検討

<ものづくりしごと体験>

協力事業所：味岡刃物製作所、木彫前田工房
期間：2018年8月3日(金)～8月24日(金)
内容：高校生などのしごと体験
参加者：高校生6名

<～さかいDECCHプロジェクト～事業報告会>

「若者の『働く』を考える～伝統産業における就労の可能性」
日時：2019年2月5日(火)
講師：吉澤 省之氏(堺市ユースサポートセンター)
保田 光徳氏(堺工科高校)
前田 暁彦氏(木彫前田工房)



活動の成果

- 1 7事業所の協力により3年間で高校生13名が参加。ものづくりの仕事我希望する高校生が現れた
- 2 受入事業者から伝統産業における課題が提起され、地域における産業の在り方について検討することができた

今後の課題・目標

本事業は高校生の長期休暇時の「体験」にとどまっているので、伝統産業における担い手となるためには「丁稚」に近い継続的な「修行」が必要となる

教員紹介



■ 人間健康学部 教授

山縣 文治
Fumiharu Yamagata

学生時代から子ども家庭福祉に関心を持ち、教員になってからもその課題を追い続けている。



■ 人間健康学部 准教授

福田 公教
Kiminori Fukuda

専門は社会福祉学、子ども家庭福祉論。社会的養護の普及・啓発および社会的養護下にある子どもの自立支援のあり方について研究を進めている。妻とともにはぐくみホーム(養育里親)をつとめている。